

あいづ芸妓振興友の会

東山盆踊り盛り上げ

若松 8月、芸妓衆と参加

会津若松市の東山芸妓(げいぎ)の伝統文化継承を支援する「あいづ芸妓振興友の会」の会員は、8月に5年ぶりに復活する「東山盆踊り」に芸妓衆と参加し、盆踊りを盛り上げる。5月31日に市内のルネッサンス中の島で総会を開き、今年度事業計画を決めた。

東山盆踊りは今年で80周年の節目を迎え、コロナ禍による中止を経て復活する。実行委員会が8月1日から4日まで催す。友の会は盆踊り開催期間中、東山地区で納涼会を催して芸妓衆と親交を深めた後、一緒に盆踊り会場で大やぐらを囲んで「会津磐梯山」を踊る。会員参加者は



優美な舞を披露する芸妓衆

芸妓衆 優美な舞で魅了

鑑賞会も開かれ、芸妓衆が唄と三味線、優席上、渋川会長が東

30人ほどを予定。芸妓文化と夏の風物詩の継承へ思いを一つにす

者育成への支援、友の会ホームページでの芸妓の紹介などを盛り込んだ。総会では渋川恵男会長(会津若松商工会議所会頭)があいさつし、芸妓文化の振興と支援へ協力を呼びかけた。

CFで支援
呼びかける

東山盆踊り実行委

東山盆踊り実行委員

会(委員長・平賀茂美、東山温泉観光協会)は、盆踊り復活に向けたクラウドファンディング(CF)を実施している。7月22日までサイト「CAMPFIRE(キャンプファイヤー)」で支援を受けている。

大やぐらの設営や、ちようちの新調などに多額の費用がかかるため、協力を呼びかけている。目標額は1千万円。寄付額に応じて東山温泉の宿泊や入浴の割引券、名入れちようちん、大やぐら1日

付いている。

山温泉芸妓協同組合の今村初子理事長に支援金の目録を贈った。今村理事長が謝辞を述べた。

続いて懇親会が開か



渋川会長から目録を受ける今村理事長(手前右)



東山盆踊り
CFのQR
コード

貸し切り権など多彩な事務局(東山温泉観光返礼を用意している。協会) 電話0242 問い合わせは実行委(27)7051へ。